

高校生アンケート調査結果の概要について

1 調査の目的

次代を担う県内高校生の進路や定住意識、将来に対する意識を調査把握することにより、今後の施策立案の基礎資料とするもの。(前回 22 年 7 月実施 4 回目)

2 調査対象及び回答数

- (1) 調査対象 1 学年から 3 学年の県内高校生
- (2) 調査時期 平成 27 年 9 月
- (2) 調査数 1, 141 人 (前回 (H22) 1,142 人)
- (3) 回収率 97.5% (同上 97.5%)

3 調査項目 (17 項目 ※前回と同様)

- (1) 一般的意識調査 … 現在の興味、定住意識、進学・就職、結婚観、職業観
- (2) 富山県の未来に対する意識 … 富山県の魅力、未来の社会や富山県への期待

4 調査結果の要点

(1) 富山県への定住意識

○将来富山に住みたいと希望する回答が 59.8% (前回 56.9%)。男子は 60.0% (前回 54.2%)、女子は 59.9% (前回 60.9%) で、男子の定住意識が高まった。

(2) 就職先の意向

○高校卒業時に希望する就職先については、約 7 割が県内就職を希望 (県内 69.6% (前回 64.7%)、県外 5.5% (前回 6.0%))。男子の県内就職希望は大幅に増加した (70.0% (前回 54.5%)) が、女子は県外就職希望が増加 (6.7% (前回 3.3%))。

○進学卒業後に希望する就職先については、約 3 割が県内就職を希望 (29.4% (前回 30.1%))。「どちらでもよい」とした人も 3 割を超えている (32.0% (前回 31.1%))。高校卒業時の就職希望者と同様、男子は県内就職希望が増加 (27.0% (前回 23.3%)) したが、女子は県外就職希望が増加 (27.5% (前回 21.3%))。

(3) 結婚や子どもを持つことについて

○負担や制約といったイメージを抱くよりも、幸福感や充実感を期待するなど、肯定的に捉えている。

(4) 富山県の未来に対する意識

○富山県の魅力は豊かな自然や自然の恵み、安全であるとの回答が大幅に増加。不足しているものは興味や欲求の充足機会や都会的魅力。

○未来の住んでみたい富山は、自然環境や安全な生活環境が守られていることを最も望んでいる。続いて、便利で活気ある県の姿をイメージ。

○未来の富山県を良くする方法については、街の活気・都会的魅力の向上や楽しさを満足させてくれる機会の増加、医療や福祉の充実、交通システムの整備、伝統文化を大切にすることなどが上位を占めている。